



御船町消防団
よしだ たかゆき
団 長 吉田 高之

団長
あいさつ

団員の皆さまには、日頃より崇高なる消防精神を持って、住民の生命・身体・財産を守るため、昼夜を問わず、献身的にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表します。

昨年、御船町では1年間を通して、大きい災害は発生していないものの、全国を見ても集中豪雨や風水害など災害は複雑多様化し、依然として後を絶ちません。また、近い将来には南海トラフ大地震の発生も懸念されており、私たち消防団の使命は、ますます重要となっ

ております。

御船町の消防団員数は年々減少していますが、出動団員を確保するため、昨年には、山間部において、機能別消防団を結成し、今年も団員の充実、消防力の強化を図ります。また、ソフト面において、女性消防隊の年度内の結成を目指します。安全面においては、新活動服や編み上げ安全靴などを全団員に配給し、安全と機動力の向上に努めます。本日の出初式を機に、決意を新たにし、町民の安心安全のため、負託に応えるために頑張ります。

自分たちの町は 自分たちで守る

消防団員は、火災、地震、風水害などの災害から、町民の生命、身体、財産を守ります。18歳以上の人で、消防団活動が可能であれば町外からの入団もできます。団員には、報酬支給、公務災害補償、福祉共済などの保障もあります。消防団から入団勧誘がありましたら、快諾をお願いします。女性消防団員も同時に募集しています。

☎ 総務課 地域・防災係

☎ 282-1111

団員
募集

令和2年 消防団出初式

新春を彩る虹のアーチ

消防団の仕事始めの儀式と呼ばれる出初式。
新年に初めて消防団員が出そろふ。
今年一年の無火災無災害を祈り
広大な空へ一斉に放水をする。
大昔から行われている
出初式の“意義”は
今もなお消防団員に受け継がれ
御船町を守る伝統行事となっている—

令和 最初の御船町消防団出初式は1月5日、御船川（お祭り広場）で行われ、町消防団（書田高之団長・378人）の1年がスタートしました。

式では藤本正幸町長が「団員の皆さまには、地域における消防防災のリーダーとして町民の力、地域の力を結集して、今後の消防活動にあたってもらいたい」と激励しました。観閲では、藤本町長と書田団長が分団ごとに規律と士気を確認しました。

式終了後、団員は防火衣を身にまとい、小型ポンプを始動させ「放水始め」の合図の爆竹で、積載車と上益城消防署のポンプ車が一斉に放水。御船城山少年野球クラブと木倉少年野球団も放水体験をし、新春の御船川に水と虹のアーチが描かれました。

